

北海道幌加内高等学校の行動計画（グローバル・アグリハイスクール宣言 Part II）

全国の農業高校の行動計画		学校において令和6年度に重点化する取組及び具体的方策		
「5つのミッション」	「8の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	目標達成期間	具体的方策
I グローバル教育で人材を育てる学校	1 「生徒一人ひとりを一層輝かせ成長させる教育」を行います。	(1) 地域農家や関連企業が抱える問題をプロジェクトのテーマとして活動します。 (2) 農業学習で得た知識・技能・成果を外部実践します。	B A	(1) そばを活用したプロジェクト活動に取り組みます。 (2) 新そば祭り等のイベントで生徒が主体的に企画・運営することを目指します。
	2 「世界と日本をつなぐグローバル教育」を行います。	(1) G-GAPの取り組みに準拠した農場の生産体制を見直します。	B	(1) G-GAPに準拠した農業教育を実践します。
II 地域社会・産業に寄与する学校	3 「地域農業の生産を支える教育」を行います。	(1) 農業体験実習を継続実施します。	A	(1) 町内農家ならびに関連機関で3日間実習を行います。
	4 「地域の農業関連産業や6次産業化に寄与する教育」を行います。	(1) 農業の六次産業教育を推進します。	B	(1) 六次産業について理解させ、年2回の幌高商店会（アンテナショップ）運営を実施します。
III 地球環境を守り創造する学校	5 「地球環境を守り、創造する教育」を行います。	(1) 校内および町内の環境美化に取り組み、エコロジーを意識した町づくりに取り組みます。	A	(1) 町内清掃活動ならびに町内花いっぱい運動へ全員参加します。
	6 「地域資源を活用し、地域振興の拠点となる教育」を行います。	(1) 地域振興に向けて、本校が主体となりそば打ち段位認定会を企画・運営します。 (2) 地域特産品を活用した加工品の開発を目指します。	A B	(1) 地域の方々と連携し生徒全員で会の進行とそば道段位取得100%を目指します。 (2) そばに関する経済活動について関連機関と連携をします。
IV 地域交流の拠点となる学校	7 「Society5.0の時代に応じた教育」を行います。	(1) 農業に関するAIやロボット技術を学びます。	A	(1) 授業で調べたり、見学等で直接体験する機会を設定します。
		(2) Society5.0について学び得たことを地域へ発信します。	A	(2) 町政の提言に向けてまとめを発表します。
V 地域防災を推進する学校	8 「地域防災を推進する教育」を行います。	(1) 地域の教育力を活かした防災教育を行います。	B	(1) 地域の防災避難訓練時等に研修参加し、学校教育にフィードバックします。
		(2) 農場危機マニュアルの整備をし、常に安全教育の徹底・危機管理意識向上を図ります。	B	(2) 安全管理の徹底と事故の未然回避に取り組みます。